

【公表】事業所における自己評価結果

事業所名		就労準備型放課後等デイサービス アタッチ・メント			公表日		令和7年5月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1		活動の安全管理と合わせ、引き続き余裕をもった配置に努めていきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	3		毎日の掃除と整理整頓を行い、心地よい空間づくりに努めていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2		現在、定例で業務改善会議を実施中です。引き続き職員と協力して、業務改善を行なっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		毎年度、保護者・職員向けの自己評価を実施しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		会議や打ち合わせ、振り返り等において、コミュニケーションを図っていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		今後、必要に応じて実施していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		随時、社内外研修への参加・派遣を行っています。	積極的に事業所外の関係者との関わりを持ち、職員のスキル向上に努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・令和7年4月に公表を行いました。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	2	現在、新たなアセスメント表を準備中です。	職員と協力し、早急な完成に向け努力していきます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		活動内容に応じてグループ分けを行い、効果的な支援となるよう対応中です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		全職員が参画して打ち合わせ～振り返りまで実施できるよう、引き続き努力していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		全職員が参画して打ち合わせ～振り返りまで実施できるよう、引き続き努力していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		記録と支援の効果検証、改善までのサイクルを確認しながら実施していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	生徒にアイデアを随時伺ったり、発案～企画まで職員と行う活動を取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			定期的なモニタリング・担当者会議へ参加させていただいております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			学校との円滑な情報共有と連携に向け、担当の先生と顔合わせを行います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3		当事業所は、放課後等デイサービス事業所となっており、かつ中高生を対象とさせていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		卒業前後に進路先との引き続き会議を相談員と連携して行っています。	引き続き、スムーズな地域移行に向け関係機関と連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	・ペアレントプログラムの研修に参加させていただきました。	保護者会や家族支援と合わせて、今後の支援内容を検討・実施していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		令和7年度より、児童館を活用した活動に取り組む計画となっております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	・R6年6月に障がい児に関わる関係者連絡会（糸満市）に参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	1		その日のできたことや活動状況を随時保護者と共有・確認していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・ペアレントプログラムの研修に参加させていただきました。	定期的な研修受講に努め、支援に繋がれるよう検討・実施していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		施設見学、契約時に管理者より説明をさせていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		生徒本人の望みを常に確認し、意識しながら、これからも日々の支援提供にあたっていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		定期面談のみならず、相談が随時できる体制を引き続き整えていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	・年2回の保護者会、不定期での家族イベントを実施しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1		これからも振り返り、支援会議を通じて、円滑なコミュニケーションが測れるよう、全職員で意識していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		引き続き、定期訓練とマニュアルの見直しを行なっています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		引き続き、定期訓練とマニュアルの見直しを行なっています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		契約時に、記載にある事項が確認できた際、保護者と対応を相談し、共通理解として個別支援計画書に記載も行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時に、記載にある事項が確認できた際、アレルギー問診票の記入を依頼し、施設外での食事や調理を伴う際は、事前にレシピ等を保護者と確認してから実施しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		引き続き、安全管理を行いながら、活動を計画・実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット事例があった際は、ヒヤリハット報告書の作成、職員での振り返りを翌日までに行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			定期的な研修を実施し、職員間での共通理解に努めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1		令和7年5月現在、該当の方はいらっしゃいませんが、定期的な研修を実施し、職員間での共通理解に努めています。